家庭科学習指導案

実　施　日　平成２３年1月１９日
実施クラス　１年３組
授　業　者　赤津　志子

1　指導単元　私たちの生活と住まい

2　単元設定の理由

「住まい」は私たちの生活にとって、衣食と同様に生きていく上で不可欠なものである。この単元では、住まいの役割について学習し、健康で快適に、そして安全に住むためにはどうしたらよいのか考える。生活の中で整理整頓を心がけること、家庭内の事故の対策、災害（特に地震）に対する防災の意識を高めるようにする。

3　単元の指導目標　新学習指導要領　C（2）ア　イ

（1）住居の基本的な機能
（2）安全な室内環境の整え方と快適な住まい方の工夫

4　単元の指導計画（８時間扱い）

１時間　住まいのはたらき
２時間　家族と住まいのかかわり・・・本時
３・４時間　健康で心地よく住むために
５～７時間　安全な室内環境の整え方
８時間　まとめ

5　単元の評価

（1）B評価
・家族と住まいのかかわりに関心をもって考えようとしている。　（関心・意欲・態度）
・住空間と生活行為との関係について理解している。　（知識・理解）
・家族の生活の仕方が変化することによって、住み方も変化することが考えられる。　（工夫・創造）

（2）支援を必要とする生徒（C評価）への手だて
ワークシートを使い、個別に指導する。

6　授業改善のポイント

（1）研究主題との関わり
・授業の目標を明確化することにより、見通しをもって授業に取り組む。
・グループごとに話し合い、意見をまとめ、発表する機会を設ける。

（2）授業評価の結果分析をふまえての改善のポイント
・自分の考えや疑問に思ったことを発表できる雰囲気作りを心がける。
・答えがなかなか出ない場合は、ヒントを与えるなどして発表できるように手助けする。

（3）「言語活動の充実」の観点から
・グループで自分の考えを発表し、意見をまとめ、クラスで発表する時間を設ける。

7　本時の授業

（1）本時のねらい
・家族と住まいのかかわりに関心をもち、考えようとしている。　（関心・意欲・態度）
・住空間と生活行為との関係について理解し、自分の考えをまとめることができる。　（知識・理解）
・家族の生活の仕方が変化することによって、住み方も変化することを考えることができる。　（工夫・創造）

（2）本時の展開

	学　習　内　容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
導入 5 分	○前時の学習内容を確認する。 ○本時の学習課題を確認する。	発問：住まいの役割にはどんなものがありましたか。 ・ねらいを意識付ける。	⧫生命と生活を<u>守る</u> ⧫休養と<u>くつろぎ</u> ⧫子供の<u>成長</u>の場	・学習内容を忘れた生徒には、３つのキーワードを思い出させる。
展開 40 分	○住まいの鳥瞰図を見ながら、家にどんな空間、場所があるか考える。	・一般的な住まいの鳥瞰図を見せて興味をもたせる。	◆居間 ◆風呂場 ◆トイレ　など	・クローゼットや廊下などの場所にも注目させる。
	○住まいの図を見ながら、どこで何をするのか考える。 ○ワークシートに記入したことを発表する。	発問：それぞれの空間でどんな事をしていますか。 ・発表している生徒に合わせて、図を提示する。	◇居間…食事、遊ぶ　くつろぐ ◇風呂場…入浴 ◇寝室…睡眠 ◇トイレ…排泄 ◇子供部屋…勉強 ◇廊下…他の部屋へ行く	・机間指導を行う。 ・住空間と生活行為が結びつかない生徒には図を見せ、自分や家族がどんなことを行っているか考えさせる。
	○目的に応じて、住空間が分かれていることを理解する。 ○住空間と生活行為との関係について考える。	・生理・衛生、家事家族共有、個人、その他の空間であることをカードで示す。 ・住空間と生活行為の関係についてワークシートにまとめながら、補足説明をする。	・ワークシートでそれぞれの空間に分類する。 ・発表する。	●生活行為とその場所について結びつけて考えているか（関・意・態） ・机間指導を行う。 ・分類することが難しい場合、キーワードを提示する。
	○家族の生活の仕方が変化することによって住み方はどう変化するのか考える。	・サザエさん一家を例に考えさせる。 ・班ごとに話し合いをさせる。 ・家族の生活が変化することによって住み方も変化することに気づかせる	・話し合いをし、発表する。	・具体的な例を提示する。 ・机間指導を行う。 ●家族の生活の仕方が変化することによって、住み方も変化することを考え、話し合いをしているか（工夫創造）
	○本時の学習内容を振り返りまとめる			

8　本時の板書計画

課題
　住まいの空間と私たちの生活はどんなかかわりがあるのだろう

＜住空間と生活行為＞

個人　　生理・衛生　　家事　　共有　　その他

9　授業を終えて

生徒は積極的に発言し、意欲的に授業に取り組むことができていた。しかし、資料の提示の仕方、発問、時間配分など改善し、今後の授業展開に生かしていきたい。